



No.60

令和2年  
12月1日発行

# かみかわ町 議会だより

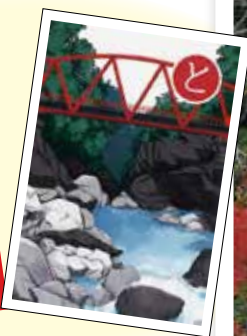
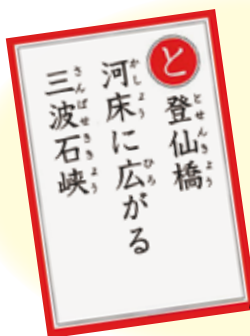
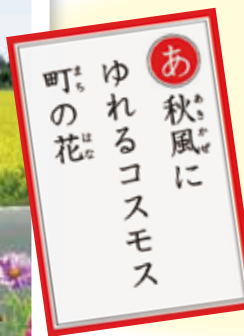
## 議会の傍聴について

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

第9回定例会は12月4日(金) [午前9時～ 一般質問等] から  
11日(金) [午前9時～ 質疑・討論・採決等] を予定しています。



最終ページに  
かるたの説明が  
あるよ



(撮影者「フォーカス友の会」 新井 広彦さん／船山カウ子さん)

## 主な内容

- 令和2年7月1日臨時会 一般会計補正予算等を可決
- 令和2年7月31日臨時会 土地購入契約を可決
- 令和2年9月定例会 一般会計及び特別会計の補正予算等を可決

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

# 定例会のあらまし

令和2年第7回神川町議会定例会は、9月8日から18日までの11日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和元年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定8件をはじめ、令和2年度一般会計及び特別会計の補正予算5件、報告3件、条例の改正等5件、契約6件、請願1件、議員提案の意見書2件が審議されました。

## 町政に対する一般質問

一般質問は9月8日に行われ、7名の議員が町長をはじめ町当局の考えについて質問しました。概要は、次のとおりです。



柴崎 愛子 議員

### 健康緑道について

「町道4417号線の見直しと有効活用について」

町は日丹線跡地を7路線に区分し、その内6路線約4キロを健康緑道としています。なかでも神川中北西付近から青柳駐在所前の道路と町道4417号線の交差する所までが特に樹木は多く、常緑樹、紅葉樹、春夏秋冬に花を付ける木々が30種類以上植えられており、この植栽がされて既に20年を超えています。植えた当初は低木であった木々も大きく茂り、「止まれ」の標識を見えなくしたり、畑の日照を妨げたりしています。また、毛虫が大群で緑道の樹木から民家の庭木に移動しているのも確認しました。神川中の生徒が登下校に利用していますが、場所によっては死角をつくっていると感じています。明るく安心安全な緑道にして頂きたいと考えます。

また、町民の方が散歩をしています。より多くの人に利用してもらうため、健康緑道にトイレを1箇所設置することについて、町の考えを伺います。

## 答え 町長

### 「健康緑道の適正管理とトイレ設置を検討します」

旧日丹線の廃線敷を利用した道路は、健康増進を目的とし、健康遊具の設置や景観樹を植栽し、通称「健康緑道」と呼ばれています。

その内町道4417号線は、中学校の北西からふれあいセンター付近までの区間です。当該

区間をはじめ健康緑道では、朝夕の中高生の通学をはじめ、隣住民の散歩やウォーキング、ハイキングなど様々な用途に利用されています。

繁茂した樹木による死角により、通行上、また防犯上危険な箇所があり、一方で毛虫などの害虫が発生することにより、近隣住宅へ被害を及ぼしています。町では、除草や剪定、消毒作業といった維持管理業務をシルバー人材センターへ年間4回ほど作業依頼するなかで、適切な

時期に作業ができるよう受注者との連携を図り、今後も適正な管理に努めます。

また、死角となる高木についての伐採は、植栽後、かなりの年数が経過していますので、現地の状況を把握し、剪定や伐採等実施し、適切に管理したいと考えています。

続いて、健康緑道にトイレがなく利用しづらいことについて、現在町内ハイキングマップでは、ふれあいセンターのトイレを利用案内していますが、開庁時間のみの利用に限られていますの

で、利便性の良いトイレ設置を検討します。



標識に覆いかぶさる樹木

## 日丹線跡地駅名標の有効活用について

### 「神川中学校前を夢ある駅名標について」

日丹線は、日本ニッケル株式会社が昭和17年に群馬県多野郡にあった多野鉱山ニッケル精錬所と神流川を隔てた若泉製鋼所の専用鉄道として敷設した鉄道です。日本ニッケル鉄道と呼ばれ、自治体の要望により若泉製鋼所から丹荘まで昭和22年5月、旅客営業を開始しました。昭和35年日本ニッケルの鉄鋼部が朝日化学肥料に譲渡され、西武化学工業が発足したことに伴い、日本ニッケルの一組織であった鉄道部が独立し昭和37年に上武鉄道となり、

### 「施設修繕と駅名称を検討します」

上武鉄道日丹線は、日本ニッケル、現在の朝日工業から丹荘駅の間で貨物専用線として開業し、昭和22年から25年間は旅客運送も行っておりました。その後、輸送体系等の変化により、昭和61年12月をもって全線廃止となりました。

神川中学校前駅跡地は、駅のプラットホームを活用したもので特に文化財等の指定はなく、当時の歴史を今に残す遺構として町が保存及び管理しています。駅名標については、健康緑道側には、当時の駅名が記載され

### 答え 町長

神川中学校前駅が昭和41年に設置されました。現在、神川中に在籍している子ども達やその子どもを持つ親世代もこの歴史を知らない人たちが多く考えます。朝日バス停改修時、日丹線のプラットホームを残していますが、中学校側からは駅名標の背中しか見えていません。神川中の全ての子ども達にメッセージとして「神川中学校前」から上りも下りも「未来」とすることについて、町の考えを伺います。

ていますが、県道側については、何も記載がない状況です。今回、現地を確認したところ、駅名標及び説明看板の老朽化が見られることから、修繕を行い、駅名標の県道側の面に駅名称の記載を検討したいと考えています。



駅名標の現況



川浦雅子議員

農業支援について

「コロナ危機及び天候不順等による影響への支援策と後継者育成について」

国は新型コロナウイルス対策として、幾つかの支援策を出していますが、自分是对象外か、また、申請方法がわからない等、諦めている農業者もいます。農林水産大臣も国会で対象農家は「事業収入として報告している人は、ほぼ全部」と言っています。農業を諦めないように、制度利用相談会の開催と後継者育成につながる制度利用について、町の考えを伺います。

答え 町長

「広く周知を図り、後継者育成に取り組んでいきます」

町では、農業者に対して給付支援を行っています。国の中小企業、個人事業者向けの持続化給付金交付事業は事業継続を支え、再起の糧としての給付金で

す。

電子申請なので申請しにくい面があるかと思われれます。窓口での案内や説明を行い、広報紙やホームページで広く周知を図りたいと考えています。支援を受ける事により、離農しないよう、また、担い手が少しでも増加し後継者育成につながるよう取り組んでいきたいと考えます。

都市部からの移住促進について

「子育てするなら神川町」のPRと町営住宅増設等移住に伴う環境整備について」

内閣府が発表した調査結果によるとコロナ禍で地方移住への関心が高まっています。神川町は自然豊かで、学校給食費は無償です。自己肯定感を育めるといわれる小規模小学校もあります。これはPRどころです。移住に伴う住宅環境整備をして、若い世代を呼び込む施策について、町の考えを伺います。

答え 町長

「住環境の提供の研究を進めていきます」

町の子育て世代向け移住促進策は、昨年創設の移住支援金事業と、リフォームや移転等の経費を一部支援する移住サポート事業補助金です。

また、千代田区にあるふるさと回帰支援センター等での移住

希望者向けセミナーで、町の魅力発信や支援策の紹介等、行っています。都心に比較的近く豊かな自然のなか、伸び伸びと子育てができる環境や土地の価格面で優位性があると考えます。住環境の提供を町が行う事は、既に移住した方との公平性の観点から、少しハードルは高いですが、今後は既に移住された方へのヒアリングなども行いながら、移住へのニーズ、課題、解決策を掘り下げて、研究を進めて行きたいと考えます。

少人数学級について

「学校におけるソーシャルディスタンスの保障を目指すことについて」

文部科学省は中央教育審議会特別部会の「骨子案」のなかに、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、少人数学級を可能とする内容を明記し公表しました。全国知事会や日本教職員組合も少人数学級を推奨しています。神川町では物理的距離の確保が難しい学校はありませんか。1クラス20人程度の少人数学級の編成について、町の考えを伺います。

答え 教育長



「少人数グループ学習の成果が出ています」

1学級当たりの児童または生徒の数は、法律で原則40人となっています。1クラスを2クラスに分けて少人数学級を実施することは、1人増えた教員の人件費の負担が大き過ぎるため、実施することは考えておりません。町内小中学校の現状

は、多い学校で1学級36人のため、文部科学省の衛生管理の最新マニュアルにある1メートル間隔を確保し、十分な換気を行い、うがい・手洗いの徹底により、感染症対策を行っています。また、授業の質の向上では、算数科で学級を2つに分け少人数による授業を行っています。さらに、ユニット学習という少人数グループ学習に取り組んでいます。様々な見方や考え方を学ぶことができる方法で、町内全ての小中学校で取り組み、成果が出ています。



坂本貴佳議員

学校の情報インフラについて

「生徒用端末機設置状況ならびに学校間を結ぶ情報網について」

文部科学省は全国的に実施された一斉休校の影響を考慮し、IGAスクール構想（全生徒に端末配布）を前倒し、コロナウイルス特定警戒都道府県の学校に、ICT環境の優先整備を決定しましたが、小中学校のICT環境の現状及び今後をどのように考えますか。

また、サーバーを各学校に設置される方針について、その事は小回りが利き利用しやすい面、サーバーに関わる様々な作業が発生し、学校毎に、専門的知識を持つ管理者が必要となり、その管理担当になる先生の負担を考えると、生徒指導に影響が出ないか不安です。

学校間の情報網は、高速情報網で結び、サーバーの一元管理を実現し、その管理は専門家に集中させ、先生には生徒指導に専念して頂く環境が必要と考えますが、情報網の現状及び今後の方針について、町の考えを伺います。

答え 教育長



「ICTの研究を進め、サポート体制の強化を図ります」

文部科学省から打ち出された『IGAスクール構想』に基づき、今年度中に全児童に情報

端末を導入、各学校に無線LANを設置、それらを使用した学びの本格稼働を来年度から予定しています。併せて教員用端末、各教室への大型モニターを今年度中に必要数導入し、授業での活用方法、家庭でのオンライン学習について、研究します。教員への研修については、昨年より配置しているICT支援員の

## 神川町業務について

活用を考えています。  
また、町内学校間の情報網は、インターネットでつながり、トランプルはその学校で対応しています。学校間的高速情報網接続は、その情報網の必要性や研究

中のWEB会議、テレビ会議等を視野に入れ検討します。各校の情報担当職員の負荷は、ヘルプデスクの設置やICT支援員を配置しサポート体制の強化を図ります。

## 「行政への住民満足度向上ならびに行政のデジタル化・マイナンバーカードの普及について」

今回の臨時給付金支給作業では、住民からの声(苦情)はどうでしたか。それらは行政に対する関心が高く期待が大きい証拠です。これらを整理・精査・検討・改善し、住民の行政業務に対する満足度を一層向上させることについて、町の考えを伺います。

また、政府のデジタル化政策は、行政事務の簡素化・効率化・スピードアップ等を目指し、印鑑押印の是非も検討され、住民に大きく影響する事ばかりです。

デジタル化が役場の現状を、住民の利便性及び満足度向上に繋がるよう、改善検討を住民目線で迅速に行う必要があります。今後のデジタル化対応に対する町の方針はどのようになりますか。

さらに行政事務のデジタル化では、マイナンバーカードが必須になります。そのマイナンバーカードの普及率は、前回2回の質問からどの位増えていますか。デジタル化を推進するにはマイナンバーカードの普及は喫緊の課題と思いますが、どのように啓発を含め、普及拡大を行うのか、町の考えを伺います。

## 答え 町長

### 「住民満足度の向上に努め、カード普及の利便性を考えます」

今回の特別定額給付金事業は、オンライン申請は5月1日、支給は5月13日から順次実施しました。また、郵送における申請等では、高齢者、独居世帯等への個別対応を実施しました。申請時期には多くの問合せがありました。また、特段のトラブルもなく約98.8%の世帯に支給を完了しています。今後も住民満足度の向上に努めます。

行政のデジタル化については、

行政の推進に関する条例改正を6月に行い、全国一律で行うシステム標準化は国の動向等を待つて対応します。既に水道の開始・休止届をはじめ町独自に電子申請・届出の充実を図り、今後効果が高い手続きに対し、町の状況に合わせた検討を進めています。

デジタル化で必要になるマイナンバーカードの普及率は、申請ベースで令和元年末1,296枚(9.6%)、本年8月末1,617枚(12.0%)です。広報紙等による申請の周知及び申請補助体制整備を実施し、併せて住民がカードの利便性を感じるような仕組みを、職員とともに考えていきます。



桜沢 晃 議員

## 新型コロナウイルス感染症対応町独自事業について

## 「中小企業者等事業継続支援金の申請状況及び周知ならびに地方創生臨時交付金を利用した今後の事業について」

国は地方創生臨時交付金により県や市町村が行う感染症拡大防止策や緊急経済対策を支援しています。町でも交付金を活用し新型コロナウイルスの影響により売上が減少した中小・小規模企業者や農家に対し、10万円を支給する「中小企業者等事業継続支援金」を創設しましたが、申請状況や支給実績について伺います。

また、町に交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付額や算定基準、さらに、町が計画した事業選定の方法や今後の事業計画はどのようになりますか。今後、国の支援策がない場合の町単独で対応する予定について、伺います。

### 答え 町長

## 「町独自の支援を考えます」

中小企業者等事業継続支援金の現在の申請状況は8月末現在で申請件数274件、給付件数は256件です。給付金額は2千878万6千円で、予算に対する執行率は41.1%です。

申請割合は事業者が248件、農家が26件となっております。

次に町に示された臨時交付金の額は3億971万7千円で、積算は、人口、事業所数、感染状況、人口密度、財政力指数等からなる算式により国が算出しています。事業は各課及び議会の見解を聞いて選定しました。今後の対策として、中学校のトイレ洋式化やインフルエンザ予防接種補助の対象年齢拡充、プレミアム付商品券、感染症対

策店舗等の改装補助、小中学校のGIGAスクールなどを予定しています。

町では、国に経済対策と地方

財政対策を要望していますが、今後、仮に国や県から支援がなくても対応する決意です。



清水敏信 議員

## 中学生のスマートフォンや携帯電話について

## 「スマートフォン等の学校への持ち込み容認について」

中学生のスマートフォン、携帯電話等についての学校への持ち込み容認について、新聞報道でも取り上げられましたが、国では、これまで中学生が学校内へスマートフォン等を持ち込むことを原則禁止していました。しかし、登下校中に犯罪や事故に巻き込まれたり、災害に直面するケースが増加するなど、緊急時の連絡手段として、学校内へスマートフォン等の持ち込みを容認する方向が示されました。

国の考えとしては、持ち込みは認めるものの、校内での使用については、引き続き制限する方針のようです。教育現場においては、大きな方針転換といえるのではないのでしょうか。

今後、町では、この問題にどのように対応していくのか、伺います。

答え 教育長



「ICTの情報教育推進委員会を立ち上げます」

令和2年7月31日の文部科学省からの通知では、携帯電話は学校における教育活動に直接必要のないものであることから、持ち込みについては原則禁止となつていきます。

その理由は、授業に支障が出たり、学校が管理して紛失したり、壊れたりしたときの責任問題や、登下校時のマナー違反などのトラブルが考えられるため

です。神川中でも現在持ち込みを禁止としています。

しかし、部活動で遅くなることとの連絡や災害時での緊急連絡などのため、子どもにスマートフォン等を持たせたい保護者の意向もあるようです。

今後は、トラブルが起きないような方策も含めて町として検討します。

また、2学期には、学校でのICT教育を推進していくために情報教育推進委員会を立ち上げます。そのなかで、スマートフォン等の扱い方を親子で話し合い、ルールづくりについて検討していきます。



田中隆久議員

避難所の環境整備について

「小中学校の空き教室の活用ならびに避難所の避難状況の住民への周知、各学校体育館へのエアコンの設置について」

今年も7月には熊本県をはじめ、各地で集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害により、多くの人的、物的被害が発生いたしました。

本町でも、昨年、台風19号により河川からの浸水や、下久保ダム  
の緊急放流の可能性が報道されたことにより、土砂災害等を心配し、300人を超える住民の皆さんが避難所に一時避難をされましたが、今年も新型コロナウイルス感染防止の観点から、3密に配慮した避難所運営も求められています。小中学校の空き教室を活用することで、避難所での密集、密接を防ぐ形の避難所運営の考えはありますか。

また、昨年の台風19号の経験を生かし、今年も住民へ避難所の状況を周知しますか。さらに、避難所として利用する小中学校の体育館は、感染防止対策以外にも、夏場の避難時には熱中症も心配されます。

避難所として利用する体育館のエアコン設置について、町の考えを伺います。

答え 町長



「災害時の教室利用を教育委員会と調整します」

小中学校の空き教室の避難所活用では、災害が発生し、避難所を開設する場合には、手洗いや咳エチケット等の基本的な感染症対策を行うとともに、人が密集に集まって過ごすような空間

を回避することが重要となっております。埼玉県策定の避難所の運営に関する指針でも、体育館等が避難所となる学校施設では、空き教室の活用を検討することとなっております。町でも、空き教室に限らず、通常使っている教室への避難について、教育委員会と調整を進めます。

避難所の避難状況の住民への周知は、平常時に住民の皆さんが備えるべき内容を広報紙や防災講座で広く周知し、町全体の



防災意識向上に努めます。また、災害時には、防災行政無線、防災情報メール、スマートフォンアプリ、また町ホームページ等により迅速な情報発信に努めます。

各学校の体育館への避難は、

一時的なもの想定しており、防災対策として体育館へのエアコン設置計画は現段階では考えていません。各教室にエアコンが設置してありますので、災害時の教室利用について教育委員会と調整を進めます。



野口弘吉議員

## 高齢者に対する交通支援について

### 「高齢者への町営バスやタクシー料金の優遇措置について」

65歳以上の運転免許を所持していない方に対する高齢者外出支援タクシー利用料金補助事業や体の不自由な方に対する福祉タクシー利用料金補助事業などは、交通インフラの乏しい当町におきまして、交通手段の一つとして活用されています。

利用登録者数は、平成元年度547名、利用割合は49.3%と半数以上が使われています。現在は、使用枚数も限られており、足りない分は個人負担となっていることから、使わない分の予算で1人当たりの金額を増やすなどの見直しはできませんか。

また、現在のタクシーを利用制度や補助は維持しながら、比較的安価に利用することのできる町営バスを、より使いやすくするためのシルバーパスの発行について、今後のまちづくりの視点から、町の考えを伺います。

## 答え町長

### 「利用者の利便性向上を検討します」

昨年12月に実施しました事業検証目的のアンケート結果では、年間の交付枚数は、53.4%の方が「ちょうどいい」と回答され、一方では、「どちらかといえば少ない」、「少ないと感じる」を合わせると42.4%でした。

令和元年度の利用状況は、利用券を全て使い切った方は19.4%、利用券を1枚も使用しなかった方も41.3%という結果でした。

使わない分の予算を1人当たりの金額、あるいは利用枚数を増やすことは、このアンケート結果から、現時点では考えていません。また、利用者の範囲に

についても、現状で良いものと考えています。

しかし、1枚700円という金額を、計算しやすい1枚500円に改めたり、1回の乗車できる枚数を拡大するなど、利用者の利便性向上となるよう検討します。

地域住民の日常生活を支えるべく運行している町営バスの利用者数は、10年前に比べると、およそ3分の1にまで落ち込んでいます。

町として、町民のニーズを捉え、シルバーパスをはじめとした既存の交通インフラとの両立を目指した施策の実現に向けて検討したいと考えています。

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、ホームページでも閲覧出来ます。

## 議案審議の結果

9月定例会は、令和2年度一般会計及び特別会計補正予算、令和元年度一般会計及び特別会計決算、条例改正などが審議され、それぞれ原案どおり可決・認定されました。また、請願や意見書が審議され、採択・可決されました。

### 予算関係

◎令和2年度神川町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ3億5,173万2千円を追加し、総額を87億5,592万6千円とするもの。

○歳入に追加された項目

国庫支出金

1億9,926万9千円

県支出金 211万2千円

繰入金

▲2千148万2千円

繰越金

1億3,093万1千円

諸収入 200万2千円  
町債 3,890万円  
○歳出に追加された項目  
議会費 ▲15万6千円  
総務費

民生費

1億2,439万3千円

衛生費

2,642万2千円

農林水産業費

190万円

土工費

3,129万5千円

土木費

5,483万3千円

消防費

1,213万3千円

教育費

9,929万2千円

〔審議結果〕全員賛成 原案可決

◎令和2年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2,546万9千円を追加し、総額を14億6,254万9千円とするもの。

○歳入に追加された項目

県支出金

27万5千円

繰入金

1,322万1千円

繰越金

1,197万3千円

○歳出に追加された主な項目  
総務費 1,293万9千円  
保健事業費 55万7千円  
基金積立金

1,197万3千円  
〔審議結果〕全員賛成 原案可決

◎令和2年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ、63万4千円を追加し、総額を1億4,548万円とするもの。

○歳入に追加された項目

繰入金 ▲362万1千円

繰越金 370万5千円

国庫支出金 55万円

○歳出に追加された項目  
総務費 63万4千円  
〔審議結果〕全員賛成 原案可決

◎令和2年度神川町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ、6,701万1千円を追加し、総額を12億2,003万8千円とするもの。

○歳入に追加された項目

繰入金 ▲352万9千円

繰越金 7,054万円

○歳出に追加された項目

総務費 ▲411万1千円

地域支援事業費

41万7千円

基金積立金 3,123万2千円  
諸支出金 3,947万3千円  
〔審議結果〕全員賛成 原案可決

◎令和2年度神川町水道事業会計補正予算(第2号)

第3条予算の収益的支出に10万9千円を追加し、補正後の額を2億9,289万1千円とし、第4条予算の資本的支出に256万3千円を追加し、補正後の額を1億3,930万8千円とするもの。  
〔審議結果〕全員賛成 原案可決

### 決算関係

◎令和元年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について  
歳入総額59億6,866万6,603円、歳出総額56億7,900万729円の決算を認定するもの。詳しくは「広報かみかわ10月号」をご覧ください。

〔審議結果〕賛成多数 原案認定  
(賛否状況参照)

◎令和元年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

事業勘定は、歳入総額15億4,765万7,815円、歳出総額15億1,568万5,759円、施設勘定では、歳入総額8,540万6,360円、歳出総額8,540万6,360円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案認定

◎令和元年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億3,522万1,335円、歳出総額1億3,128万1,383円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案認定

◎令和元年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額11億5,690万4,606円、歳出総額10億8,636万5,054円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案認定

◎令和元年度神川町営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額910万7,414円、歳出総額851万6,105円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案認定

◎令和元年度神川町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額2,463万4,583円、歳出総額2,368万3,063円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案認定

◎令和元年度神川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億3,740万7,950円、歳出総額1億2,990万2,675円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案認定

◎令和元年度神川町水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について

事業収益が3億1,633万

5,597円、事業費用が2億7,862万3,057円、資本的収入が、141万円、資本的支出が1億946万3,246円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案認定

## 報告

◎令和元年度神川町健全化判断比率について

◎令和元年度神川町資金不足比率について

◎令和元年度神川町一般会計継続費精算報告書について

## 契約関係

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 神川町立丹荘保育園建設工事  
 契約方法 一般競争入札  
 契約金額 7億3,492万1千円

契約の相手方

住所 埼玉県熊谷市宮町二丁目144番地

名称 三ツ和総合建設業

協同組合 熊谷営業所

代表者 所長 高橋 秀明  
 〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 旧神川町国保診療所解体工事  
 契約方法 一般競争入札  
 契約金額 5,786万円  
 契約の相手方

住所 埼玉県秩父市下影森163番地

名称 株式会社斎藤組

代表者 代表取締役 齊藤 公志郎

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 河川改修工事 (金鑽川・その2)  
 契約方法 一般競争入札  
 契約金額 8,910万円  
 契約の相手方

住所 埼玉県本庄市日の出二丁目1番46号

名称 株式会社関口組

代表者 代表取締役 関口 ユカ

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 河川改修工事  
 (金鑽川・その3)  
 契約方法 一般競争入札  
 契約金額 8,778万円  
 契約の相手方

住所 埼玉県本庄市児玉町金屋1220番地  
 名称 内藤建設工業株式会社  
 代表者 代表取締役 内藤 稔

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎物品購入契約の締結について

契約の目的 充電キャビネット(保管庫)購入事業

契約方法 指名競争入札  
 契約金額 389万4千円  
 契約の相手方

住所 埼玉県熊谷市問屋町三丁目1番16号  
 名称 株式会社雄飛堂 熊谷支店  
 代表者 熊谷支店長 石塚 一男

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎物品購入契約の締結について

契約の目的 神川町学習用情報機器等整備業務  
 契約方法 随意契約  
 契約金額 5,471万8千950円  
 契約の相手方

住所 埼玉県さいたま市中央区上落合8-1-19  
 名称 株式会社大塚商会 LA事業部 北関 東LA販売課

代表者 課長 小堀 保夫

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

請願

◎文教厚生常任委員会

件名 「重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大を求める意見書」の提出を求める請願書  
 要旨 埼玉県に重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大を求める意見書の提出を求める

議案審議の結果

請願者 本庄保健所管内精神障害者を守る会 双葉会  
 会長 橋本 すみ子  
 〈審議結果〉全員賛成 原案採択

◇7月1日臨時会

臨時会は、令和2年度神川町一般会計・水道事業会計補正予算、物品購入契約議案が審議され、全て可決されました。

補正予算関係

◎令和2年度神川町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ6,588万2千円を追加し、総額を84億419万4千円とするもの  
 ○歳入に追加された項目  
 国庫支出金 4,906万2千円  
 県補助金 1,678万1千円

諸収入 3万9千円  
 ○歳出に追加された項目

総務費 218万3千円  
 衛生費 3,035万3千円  
 教育費 3,334万6千円  
 〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎令和2年度神川町水道事業会計補正予算(第1号)

第3条予算の収益的収入に99万円を追加し、補正後の額を3億1,416万9千円とし、収益的支出に99万円を追加し、補正後の額を2億9,278万2千円とするもの  
 〈審議結果〉全員賛成 原案可決

契約関係

◎物品購入契約の締結について

契約の目的 神川町営バス車両購入  
 契約方法 指名競争入札  
 契約金額 1,318万9千300円  
 契約の相手方

住所 埼玉県深谷市山河702番地1  
 名称 坂田自動車工業株



〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

購入面積

5,361.75㎡

4千611万1千050円

契約金額

契約方法

随意契約

地購入

契約の目的

◎土地購入契約の締結について

## 契約関係

臨時会は、土地購入契約議案が審議され、可決されました。

◇7月31日臨時会

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

代表者 代表取締役

坂田 秋雄

株式会社

## 9月定例会「条例等」

| 件名     | 内容   | 審議結果 |
|--------|--|------|
| 町長提出議案 | 神川町高齢者長寿祝金支給に関する条例の一部を改正する条例                   | ○    |
|        | 神川町特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例                        | ○    |
|        | 神川町国民保護協議会条例の一部を改正する条例                         | ○    |
|        | 神川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例   | ○    |
|        | 神川町過疎地域自立促進計画の変更について                           | ○    |
| 議員提出議案 | 重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大を求める意見書                     | ○    |
|        | 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書 | ○    |

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

| 議案名称                      | 議決等の結果 | 1 四方田繁男 | 2 桜沢 晃 | 3 田中 隆久 | 4 川浦 雅子 | 5 野口 弘吉 | 6 坂本 貴佳 | 7 清水 敏信 | 8 堀川 光宣 | 9 柴崎 愛子 | 10 廣川 学 | 11 落合 周一 | 12 赤羽奈保子 |
|---------------------------|--------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 令和元年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について | 認定     | ○       | ○      | ○       | ×       | ○       | ○       | ○       | ○       | ○       | ○       | ○        | —        |

○ 賛成 × 反対 — 赤羽奈保子議長(議事進行)は採決に加わりません。

# 議会日誌

※本日誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

## 7月

- 1日 全員協議会
- 第5回臨時会（補正予算等質疑・討論・採決）
- 27日 臨時議会運営委員会
- 28日 児玉広域圏例月監査
- 31日 全員協議会
- 第6回臨時会（契約議案・質疑・討論・採決）

- 11日 総務経済常任委員会協議会（※写真②）
- 14日 文教厚生常任委員会（※写真③）
- 18日 臨時議会運営委員会
- 25日 臨時全員協議会
- 28日 第7回定例会（条例、決算、補正予算等質疑・討論・採決）
- 児玉広域圏例月監査
- 児玉広域議会定例会

## 8月

- 6日 児玉広域圏決算審査
- 7日 美里町議会議員葬儀
- 11日 国道254号線バイパス期成同盟会監査
- 18日 国保運営協議会
- 21日 文教厚生常任委員会研修会（※写真①）
- 24日 議会運営委員会
- 25日 児玉広域圏例月監査



写真② 現地視察（矢納地内）

## 9月

- 1日 全員協議会
- 2日 社会福祉協議会三役会議
- 8日 臨時議会運営委員会
- 臨時全員協議会
- 第7回定例会（一般質問）
- 9日 第7回定例会（決算説明）
- 10日 第7回定例会（決算説明、補正予算説明、条例改正等説明）



写真① 研修会



写真③ 委員会

## 今月号の表紙

### 秋風にゆれるコスモス（町の花）

平成18年12月20日告示

旧神泉村との合併により、新たな町のシンボルとなる「町章及び花・木・鳥」を町内在住の小学生以上を対象に募集を行い、260件の応募のなかから応募数の多い「コスモス」が町の花として選ばれました。

### 三波石峡（国指定名勝及び天然記念物）

昭和32年7月3日指定

神流川にかかる登仙橋から、下久保ダム付近までの約2kmにわたる範囲は、三波川結晶片岩を深く浸食した渓谷で、三波石と呼ばれる緑色結晶片岩の断崖や大きな岩が河床に広がっています。

スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと

「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

